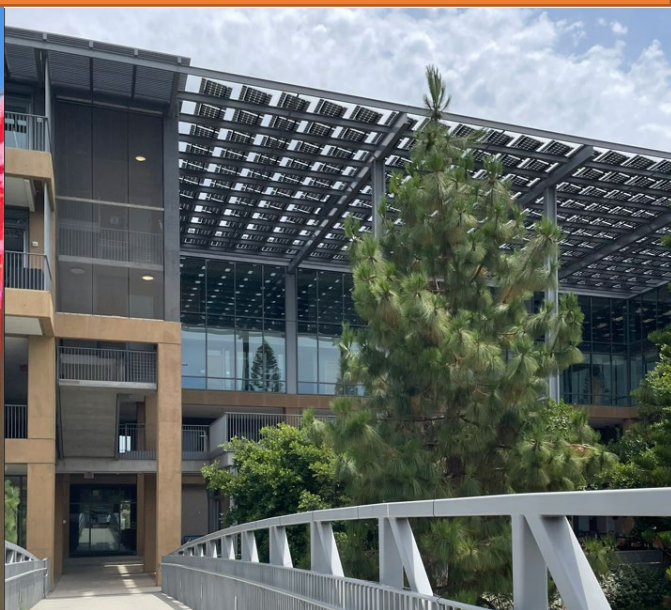


2023年夏渡航



2023年夏渡航





治安が最良なアーバインで
アメリカ人になりきる！！

工学部 材料工学科 2年 相 美月さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否：可・不可

派遣先：アメリカ・UCI

留学をしようと思ったきっかけは、長い夏休みを無駄にせず何か毎日取り組んでみたいという思いで申し込みました。また、いろいろなプログラムの中で語学研修を選んだのは、自分の英語能力を考へ一番参加しやすいと思ったからです。語学研修の中でUCI 4週間の留学を選ぶ際には、①ホームステイであること②4週間の留学であること③本当に楽しめそうかという三つの条件を自分で決めました。今回の私の目標は、「アメリカ人になること!」でした。そのためには、現地の人と同じ家に帰り同じ食べ物を食べ、4週間でじっくりと現地人になりきる必要がありました。しかし、ここでいいニュースと悪いニュースがあります!まずは、悪いニュースから、渡米しても学校での留学であるため周りには日本人ばかりがいます。お分かりの通り、日本人は日本語を使います。そうなると一向に英語が上達しません、しかし一人で行動するのも楽しくありません、そこで自分に英語で話しかけることにしました。毎日ではないけれど英語で日記を書くのです。その日習ったことや笑ったこと、食べたもののこと気づいたことなど何でもいいんです。妄想上の推しに話すように書いてもいいですし私は日本にいる大好きな友人に話をするように書きました。そうすると伝えたいという気持ちからどんどん長くなっていき楽しくなってきました。文法はめちゃくちゃで大丈夫ですけど例えば3行以上は書くという条件を付けてもいいと思います。手書きだととても疲れるので私は携帯のメモ機能で楽をして書いてました(笑)そしていいニュースは、リスニング力が格段に上がったことです。本場の英語はとても速くて雑です。ですが何日かで耳が慣れ理解できるようになりました。重要な単語だけ聞こえればいいんです。もっと難しいのはスピーキングですのでリスニングと同時に話したいという意思を持っているととても成長することができると思います。伝わらないという経験もした方がいいと思います。留学後は、現地の先生に勧められFriendsというコメディードラマを観ることで英語に親しくなれました。4週間あるおかげでカルチャーショックを痛感したりプレゼンの出来に落ち込んだりホームシックを感じたりできたことが嬉しかったです。

英語でのグループワークやプレゼンテーションが豊富にあり、現地の方もフレンドリーに接してくれるので楽しく英語を学ぶことができた。また、英語への意欲も増したと感じる。

システム理工学部 N学科 2年 松本 大吾さん



参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先： アメリカ・UCI4週間

私は普段学校ではなるべく一人になりたくなく三人以上のグループでいることが多い。そのため一人で何かをする、考える時とても不安になるし、すぐ助けを求めようと行動することが多々あった。この語学研修では1~4年まで幅広く参加でき、他学部・他大学合同なのでたくさんの方と交流できるという素晴らしいプログラムであった。ただ私は普段から仲の良い子たちで集まっており、親しい友達はだれも参加していなかったためほぼ一人であった。当日まですごい不安があり、正直一か月間を楽しく過ごせるのだろうかと思っていた。しかしながら、この感情は周りの方たちも持っており、みんな不安だったということを知れた時には新たな友達や現地の方と仲良くしようと自分から行動できるようになっていた。もちろん、この研修の一番の目的は英語力の向上ですが、信頼できる友達が増えれば英語を教え合い、一か月間助け合いなどで成長できる要素が相互で増えるわけなので、一人が不安でなかなか行こうという勇気が出ない方でも馴染める研修であったと感じる。

授業は基本全員参加型で、私のクラスは挙手性、自主性が試されるクラスであった。プレゼンテーションは一か月間で三つと豊富にあり、形式も自由であったため自由に言いたいことを表現できるためとても充実した授業であった。またビザを申請せずに渡航した今回のプログラムでは学べる時間が決まっていて、一日の授業時間は160分なので英語が苦手な方も退屈にならないいい時間である。教師やホストファミリーはとても親切でフレンドリーなので話しやすいのと質問すればするほど笑顔で答えてくれるので、基本アメリカの方はやさしいなと感じた。ただ、訪れる州、市、町などによればホームレスの方や怖そうな方たちが溢れかえっているような場所も多々あるので日本よりかは外は危険であると思う。また日本より物価が高いので学生には少し不自由かなと感じた。

最後に、やはりどんな危険があるか行くまで分からないリスクはあるが、勉強面や交流においてとても充実した楽しいプログラムなので人生経験としてよいものになったと感じる。



英語にたくさん触れることができ、英語に慣れることができました。また、英語を勉強したいと強く思うようになりました。

工学部 機械機能工学科 2年 巖 大翔さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先： アメリカ UCI4週間

父が海外育ちであり、その影響で幼いときから海外の映画や曲などに興味があったので、その文化を実際に肌で感じてみたいと思ったことと、このプログラムで体得したものが将来自分の世界観や仕事などに役立てられれば良いと思い、語学研修に参加することを決断しました。

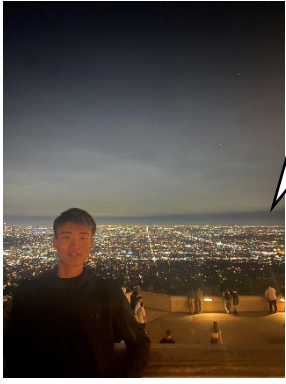
UCIでは平日は午前中約3時間授業をし、午後は現地の生徒と日本人数名のグループで英語で会話をしながらゲームをしたり、ショッピングモールへ行ったりと生の英語に触れることができました。また、UCIはアクティビティがとても豊富で、週末はヨセミテ国立公園、ディズニーランド、ユニバーサルスタジオなどいろいろな観光名所に行くこともできます。そのこともあり、このプログラムに来ていた他校(千葉工業大学、駒沢大学、関西学院大学)の生徒とも仲良くなれ、留学が終わってからも月に2~3回会っています。

1か月という短い時間でしたが、この留学を通し、Uber(taxi)に忘れたスマホを取り戻すなど、いろいろな問題を英語で仲間たちと解決したことで、自分と自分の英語に自信がつけました。アーバインで過ごした1か月間は最高に楽しく、これから先の人生を含めてもこの1か月間を超えるものはないと感じています。

最後に、私は過去に一度留学を経験しており、そこではホストファミリーに恵まれず、ホームステイに苦手意識がありましたが、今回のホストファミリーはとても優しく良い人たちで、感謝してもしきれないほどでした。もしホームステイに苦手意識を持っている人がいたら、ホームステイだからという理由でこのプログラムを諦めてほしくないと思います。

アクティビティや授業を通して様々な国の方とコミュニケーションをとることができました

工学部 材料工学科 2年 清水 優太郎さん



参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先： アメリカ・UCI4週間

1年次に大学での学習の他に新たに技能を身に着けたいと思い、大学内で英会話を始めました。そのアウトプットの機会として、今回このプログラムに参加しました。豊富なアクティビティを通して現地の方と交流してみたい、ホームステイで現地の暮らしを体験してみたいという理由からUCI4週間のプログラムを選びました。

滞在中は午前の9時から12時頃まで授業を受けました。授業では主にスピーキングやディスカッションに取り組み、アメリカの文化についても学びました。午後はフリーとなっていて自分の目的に合わせて行動できます。私の場合は週2回、UCIの学生との交流をしたり、バスでビーチへ出かけたりしました。初めはこの午後の時間の使い方に悩んでいましたが、この4週間で自分から行動する力が身につきました。また、ホストファミリーとの交流も大切に過ごすことができました。話をするのが大好きな方で毎日2～4時間話していました。週末にはオプションでアクティビティに参加することができて、ディズニーやハリウッドへ行きました。

4週間の滞在を通して1番良かったことは、様々な文化的背景を持つ方々と話せたことです。現地でタクシーを利用した際には、中国や韓国、アルメニア出身の運転手の方と話しました。アメリカには様々な目的で多くの国からやってくる人がいて、多様な考え方があることを学びました。同時に、そのような人たちと英語を使ってコミュニケーションがとれることの楽しさも味わうことができました。初めは自分の英語の能力やホームステイに対して不安がありましたが、二度とない経験がたくさんできたので挑戦して良かったと思っています。今後新たに挑戦したいといった具体的な目標はまだありませんが、この経験を今後の生活と表現に生かしていきたいと考えています。



アメリカを満喫しました！！

工学部 材料工学科 1年 南 花奏さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先： UCI4週間

昔から世界旅行のバラエティー番組が好きで、漠然と海外に行ってみたいという気持ちを持っていました。コロナを経験して、海外に行ける時にいきたいと思い語学研修に参加しました。

滞在期間中は平日の午前中にリスニング・スピーキングの授業とアメリカンカルチャーの授業を受けました。どちらの授業も後半には筆記テストやプレゼンテーションがあり少し大変でした。プレゼンテーションでは先生によってはプレゼンテーション中に指摘をされたり、日本との差に驚きました。週2回、UCIの学生の方1人と芝浦の学生5人で、2時間お話をしたり、ショッピングセンターに行ったり、現地の学生のおすすめの場所や食べ物を教えてもらうことができました。午後にはビーチに行ったり、野球観戦に行ったりと、4週間あってもまだまだ遊び足りないと感じるくらい遊びに行く場所がたくさんありました。このプログラムではホームステイだったので家に帰っても英語に触れられるのがいいところだなと思いました。私のホストマザーはフィリピン系の人だったこともあってか健康的な食生活を送れました。わがままで餃子を作ってほしいとお願いしたら、日本の餃子とは少し違ったものでしたが、とてもおいしくて好きになりました。

食事、価値観、マナーなど日本との違いは数えきれないくらい感じられました。日本食スーパーで納豆を買うくらい日本が恋しくなった時もありました。海外に行くことは視野が広がったり、英語力向上など得れたものも多かったですが、それと同時に日本の良さを再認識できる機会となりました。また、私は英語が苦手で、留学前にはこんな私が留学なんかと思うくらい不安が多かったですが、とても満喫できました。上手く英語が話せなくても現地の方は何度も聞いてくれたり、わかりやすい英語で話してくれたり、優しい人が多くて救われました。それと同時に会話を楽しめるくらい英語力を上げたいと感じました。大変なこともあると思いますが、全部いい思い出になるはずです！！

英語圏での授業や生活を通して、英語でのコミュニケーション力がアップしました。

システム工学部 電子情報システム学科 2年
神谷 健太郎さん



参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

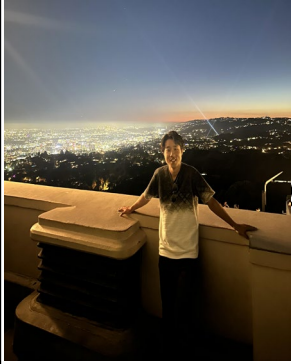
■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先： アメリカ・UCI4週間

もともと海外に行って英語を使うような生活にあこがれており、自分の英語力を高めるいい機会だと感じたので参加しました。英語を学ぶならアメリカのプログラムに参加したいと思っており、現地でのアクティビティや学生との交流多いカリフォルニア大学アーバイン校に決めました。

大学での授業は1コマ1時間強を午前中に2コマ行われました。内容は「Speaking and listening」と「American culture」の二つです。「Speaking and listening」では、クラスメイトと英語で会話をしたり、教科書の内容をもとに自分の意見を英語で説明したりと、能動的に英語を使うことの多い授業でした。「American culture」では、アメリカの挨拶、チップの習慣、ジェスチャーなどの文化を学びました。午後はUCIの学生と交流する時間があり、プールやショッピングモールなど様々な場所に遊びに行きました。現地の学生とはもちろん英語で会話をするので、コミュニケーションに難儀しましたが、相手もゆっくりと話してくれたりと配慮してくれたので自信をもって会話をすることができました。週末にはホストファミリーと映画を見に行ったり、ロサンゼルス観光やディズニーランド、ユニバーサルスタジオなどに行き、アクティビティ面でもとても楽しむことができました。

一か月は長いようでとても短く感じましたが、この短期間でも英語力を高めることができましたと思います。また、様々な観光地にも行くことができたのでかけがえのない思い出になりました。今後も英語力を高めるために勉学に励みつつ、機会があれば別のプログラムにも参加したいと考えています。



大学の授業だけでなく様々なアクティビティで
現地の人とコミュニケーションを取ることで実
践的な英語力がつきました！

システム理工学部 生命科学科 3年 菊田 知寛さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先：アメリカ-UCI4週間

英語を学ぶうえで日本であれば、文法はある程度学習できるが会話表現や正しい発音を学ぶことは難しいと感じていました。そこでアメリカに行くことで日本では学べないことを日常的に学ぶことができ、ホームステイをすることでアメリカの文化についても学べると感じたためこのプログラムに参加しました。また、人生のうちでホームステイを経験できる最後のチャンスだとも思ったため、アメリカ4週間のプログラムに参加を決意しました。

滞在中は平日は午前中に授業があり、午後はたまにプログラムがありましたが、それがない日は友人と様々な場所を観光しました。授業の内容としては、基本的な文法を確認しながらそれを用いてクラスメートと英語で会話をしたり、3回ほどプレゼンテーションも行いました。プレゼンテーションでは今まで正しいと思っていた発音が違うことを指摘してもらえたため、正しい発音が身につきました。特に”r”と”l”の発音の違いや”th”と”z”の発音の違いは細かく指摘され、日頃から発音を意識するようになりました。また、筆記のテストもあったためとても充実していました。勉強以外では大谷翔平の試合を見に行ったり、ロサンゼルスを訪れたりビーチに行ったりとアメリカならではの経験もすることができました。滞在中はホームステイだったため、ホストファミリーと会話する機会も日常的にあり、英語が当たり前の環境に身を置けたことがとてもよい経験になりました。ホストファミリーには小さな子供もいたため、一緒に折り紙をしたり日本がどんな所かをお話したこともとてもいい思い出になりました。

長いようでとても短い4週間でしたが、行ってよかったと思えるプログラムでした。私を感じたことは英語を話すうえでTOEICの点数はそこまで関係ないということです。もちろんある程度の語彙力がないと日常会話をするのは難しいですが、私より点数が高くてほとんど英語を話せない人はとても多くびっくりしました。そのため、英語が苦手でも話そうとする意志があれば勝手に力はつくので、語学研修の際は失敗してもいいので積極的に英語を話すことをお勧めします！

授業や現地の人とのコミュニケーションを通して英語力が身に付き、語学勉強へのモチベーションがアップしました。

システム工学部 機械制御システム学科 2年
田村 怜碧琉さん



参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先： アメリカ・UCI4週間

以前から留学したいという思いはありましたが、踏み切れずにいました。友人が語学研修プログラムに参加したことで留学について積極的に考え始め、「留学するならアメリカ」と考えていたことや授業内容が専門的な内容ではないため英語力の向上に集中できると思ったこと、授業時間外のアクティビティが豊富であることからこのプログラムを選択しました。

滞在期間中は、それぞれ80分の英語の授業とAmerican Cultureの授業を午前中に行い、午後からは基本フリーでキャンパス内を散策したり、近くのお店やビーチに行ったりしました。このプログラムには週2回のカンパセーションがあり、現地の学生1人に対してプログラムの学生4、5人で週2回、2時間話しながら近くのお店に行ったりやゲームをしたりする時間がありました。週末にはオプションアクティビティーがあり、ディズニーやユニバーサルハリウッド、LA観光などに行きました。

今回のプログラムに参加して、参加前よりもミスに恐れずに英語を話すことができるようになりました。最初は、伝わらないのではないかとというような心配がありました。が、ホストファミリーやパートナーの学生、先生などは自分が伝えようとする姿勢を持っていれば相手もしっかりと聞き取ろうとしてくれるためそれが自信につながりました。今回の留学を通して、ホストファミリーや現地の学生といった貴重な関係をつくることができ、ともにプログラムに参加した芝浦の学生とも学部、学科、学年を越えた友人をつくることができました。今後は、これまで以上に語学勉強に励み、語学研修で培った力をベースに、グローバルPBLなど他の上位プログラムへの参加していきたいと考えています。



語学研修に参加することで英語が自然に耳に入るようになりました

工学部 電気工学科 3年 廣澤 拓海さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先：アメリカ UCI

海外留学は入学時から考えていましたが、コロナの影響もあり、なかなか機会がありませんでした。しかし、3年に進級する際に部活を辞めたため時間に余裕ができたことで留学を決意しました。UCIに決めた理由は、UCIのあるアーバインという地域がとても治安が良く、また大谷が所属するエンゼルスの本拠地やディズニーランドが近く、アクティビティにも期待ができる地域であったためです。

滞在期間中は、平日の午前中に3時間アメリカの文化などを学べる授業を受け、午後は週に2日現地の学生と交流しました。留学中に現地の学生との交流が何度かあり、アメリカと日本の文化の違いを実感することができました。特に印象に残っているのがアメリカの大学入試の方法です。アメリカでは自分のセールスポイントを示すこと、小論文をきれいにまとめることが大切と言っていました。日本は基本的には学力が優先されるので新鮮に感じました。休日はアクティビティが設定されていて、ディズニーランドやUSHIに行く人もいました。

1か月のプログラムでしたが、今まで長期的に海外に滞在したことがなく、何度もストレスを感じることもありました。初めの一週間はコロナに感染してしまったときは特にストレスがひどく、今すぐに帰りたいとすら思いました。しかし、終わってみれば夏休みを有効活用できた満足感があり、また大学生のうちに海外へ行く経験ができたことは今後にも役に立つことが多いと思うので、行ってよかったと感じました。



毎日のホストファミリーとの会話や
日々の授業の中でリスニング能力が
とても向上しました。

建築学部 建築学科SA 3年 伊藤梨湖さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先： アメリカ・UCI4週間

一カ月の留学で、平日はカリフォルニアのUCIという大学で授業を受け、かつホームステイという英語漬けの環境にとっても魅力を感じこのプログラムを選ばせていただきました。

実際に留学してみて、本当に人生の中でとても濃い忘れられない一カ月になりとても満足しています。ホームステイ先のファミリーもとても良い人で沢山お話していただいたり色々な場所に連れて行ってくださったり、留学中にあった私の誕生日には沢山の人たちを招いてパーティーを開いてくれたりと英語の環境で充実した生活を送ることができました。

また、UCIでは日本の大学とは比べ物にならないくらい敷地が広くて、授業では教科書やパワポを使用してアメリカについてのことを沢山学ぶことができました。その中でも私は色々な海外での常識やよく使うスラングのようなものや、有名なお店など日常的に役立つものを沢山学べたことが一番印象に残っています。

そして何より本当にたくさんの人と仲良くなり、とても濃い思い出をつくることができました。他の大学からプログラムに参加している人たちとも仲良くなれたり、ホームステイ先の繋がりで色々な人たちに良くしていただけました。留学後の今でも現地でできた友達や他の大学の人たちと連絡をとって、留学を通して現地だけの関係にならず今でも連絡を取れているのがとても嬉しいです。

これらの経験が無駄にならないようにこの経験で培ったものを今後に活かしていきたいと思いました。またこのようなプログラムに参加できる機会があれば参加したいと強く思いました。



海外に行って現地の方と話すことで英語に対する抵抗がなくなり、外国語が身近に感じられるようになりました！

工学部 土木工学科 2年 天野 誠斗さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

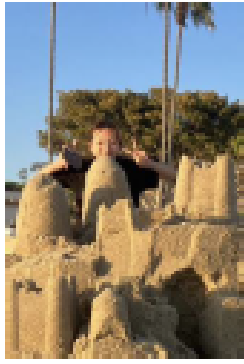
派遣先： アメリカ・UCI4週間

語学を上達させたいなら現地に行くのが一番いいと多くの人から聞き、プログラムに参加しました。当プログラムではホームステイとなるため、ホームステイ先に帰ればホストファミリーの方と毎日話をすることができます。家で過ごす時間でも英語を使用するため、英語を上達させるにはとても良い環境でした。

学校では、1・2限が授業となっています。授業では発音や文法だけでなく、現地で使用されているスラングや文化についても教えてもらえます。また、私のクラスでは何度かプレゼンテーションをする機会がありました。人前で発表する機会があったことで自身の英語力を上げたいと思うことが多くなり、積極性をもって英語の学習に取り組むことができました。

放課後は週2日、現地の学生と話をする時間があります。グループごとの活動のため、ビーチや買い物に行くこともできます。その場でお勧めを聞いたり、おいしい食べ物等を教えてもらうこともできるのでアメリカの文化に触れる良い機会になりました。

カリフォルニアにはLAやビーチ等、見どころが多くありとても楽しくアメリカの文化に触れながら生活することができます。英語を使用し生活しているため自身の英語力の向上も体感することができ、良いモチベーションを保つこともできました。また、スキルをさらに向上させより多くの国を見たいとも思うようになり海外に対する興味が留学前よりも深くなりました。



語学力が身についただけでなく、
様々な経験を通し、
人として成長することができました。

建築学部建築学科1年 岩永悠希子さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

公開可否： 可 不可

派遣先：アメリカ UCI

私が語学研修に参加しようと思った理由は、語学力を高め、世界中の多様な人々と意見を交わし合えるようになりたかったからです。内向的な日本とは違い、外交的で多民族国家であるアメリカは、多様性に富んでいる上に公用語が英語であるため、私の目的に最適だと思い、アメリカを派遣先として考えていました。さらにUCIのある街は安全で日本人が多いため、初めての語学研修先として行きやすく思えたので今回、このプログラムに参加することを決意しました。

一ヶ月の滞在期間中の主なスケジュールは、午前中に三時間ほどの授業を聴き、午後は週二でUCIの生徒と交流するミーティングに参加するというものでした。リスニング&スピーキングという授業では、一枚の写真から自分で文章を考えたり、出されたお題に沿って作った物語をグループで発表するなど、英語の勉強になるだけでなく、自分の考えを伝える力を養うことにつながりました。また、アメリカンカルチャーという授業では、アメリカの祝日や社会的背景、食べ物、映画などについて実践的に学び、アメリカの文化を深く知れました。さらに、ミーティングでUCIの生徒と一緒にゲームや外出をしたことは貴重な経験として印象深く心に残っています。他にもUCIが定期的に行っているイベントや学校主催のアクティビティーなどがあり、充実した夏となりました。

慣れない土地での生活は大変でしたが、語学研修の中で経験したことは全て貴重な体験として、自分を成長させる糧となったように思います。ネイティブの英語に触れる機会が必然的に多くなるため、短期間で語学力を高められる上、バックグラウンドの異なる人々との交流は考え方の幅を広げる手助けとなりました。また、街は全体的に開放的で穏やかな印象であり、自分の意見をはっきりと言えり空気感を作り出しているように思いました。今後は英語の勉学に力をいれ、私の興味分野である建築について意見を交換できるようにし、スタディーツワーやPBLなどの上位プログラムに参加していきたいと思っています。